



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



中央保育所 秋の遠足

第62号

令和2年(2020年)

11月1日発行

石川県宝達志水町議会

□ 令和2年第3回定例会	2
□ 議案に対する質疑	4
□ 討論	5
□ 「町政を問う」一般質問(7名)	7
□ 特別委員会審議	15

令和2年第3回 9月10日～18日

定例会



令和2年第3回町議会定例会が、9月10日から18日にかけて開催され、補正予算7件、条例2件、契約1件が可決されました。最終日には、議会運営委員会発委による「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」が追加提案され、可決されました。

決算特別委員会を設置

令和元年度一般会計ほか特別会計4件、企業会計3件の決算認定についての各案件を審査するため、委員5名で構成する決算特別委員会を設置しました。

委員長 小島 昌治 副委員長 林 稔
委員 守田 幸則 委員 松浦 文治 委員 岩根 信水

○令和2年度 補正予算の状況

会 計 名		補正後の予算額	補 正 額
一	般 会 計	99億9,086万円	2 億3,381万円
特別会計	国 民 健 康 保 険	14億1,772万円	120万円
	後期高齢者医療特別会計	2 億344万円	132万円
	介 護 保 険	19億5,615万円	660万円
企業会計	水 道 事 業	5 億2,447万円	▲30万円
	下 水 道 事 業	15億1,760万円	312万円
	病 院 事 業	14億7,182万円	417万円

補正予算の主な内容

中央保育所 大規模改修工事実施設計

老朽化した中央保育所の大規模改修を令和3年度に実施するための実施設計業務。

1,428万円

コロナ対策

プレミアム付商品券 発行補助金

商工会が発行するプレミアム付商品券に係るプレミアム分及び商工会手数料に対し、補助金を交付する。

8,346万円

コロナ対策

各集落集会施設 エアコン設置

各集落の自主避難所と位置づけられている集会施設で、エアコン未設置の施設にエアコンを設置する。

1,317万円

コロナ対策

高齢者の方のインフルエンザ予防接種が一転、無料に

9月定例議会の町長説明では

「65歳以上の高齢者の6割を超える方々にインフルエンザワクチンを接種してもらいたいので、例年の一人1,500円の接種料金を一人1,000円にする」というものでした。これについて、数名の議員が異議を唱えます。

問最低、6割の高齢者に接種してほしいという根拠は何か。

答感染防止に有効な割合である。

問県内では市町ごとに接種料金が違うが、接種料金と接種率の関係は。

答確かに、接種料金が安いところでは接種率が高くなる傾向にある。

問新型コロナウイルスとインフルエンザが重なれば重篤な症状が生じた例が報道されている。本気で6割を超える接種率にするためには接種料金を無料にする必要がある。そのためには、あと350万円あれば実現できる。4億円を超える国からのコロナ対策交付金をそのために利用すべきである。

答考えてみる。

接種料金は実際にどうなった

町長は「考えてみる」といいながら、一人1,000円の接種料金を変えずに議会に提案しました。このことに4人が「異議」を唱えましたが、賛成多数で接種料金1,000円が決められました。

ところが9月定例議会閉会后すぐに変化

町長より、「接種料金について説明したいので議員の招集をお願いしたい」と町議会議長へ申し入れがありました。申し入れに従い、議長が議会の関連する委員会と全員協議会の開催を各議員に要請しました。

コロナ禍の下、「高齢者の接種料金の無料」を強く求めていた議会内の声が大きく広がって「接種料金の無料」が決められました。

町長が一旦決めた「接種料金一人1,000円」を、議会が「**無料**」にするため頑張りました。

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ) ○：賛成 ×：反対 △：退場 決：欠席

件名	結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	守田 幸則	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第47号 令和2年度宝達志水町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	欠	－	×	○	×	×	×

議案に対する質疑



守田 幸則 議員

中央保育所の改築
場所について

質 守田議員

以前、町長は宝達志水病院に隣接する旧志雄中学校跡地に、新たに中央保育所を新築すると言っていたが、千年に一度の大雨が起るということと現在の場所での改築になったと記憶している。浸水想定区域内の最大浸水深を調べたところ、中央保育所では1.5m、宝達志水病院では0.7mである。宝達志水病院の方が水がつきにくいのに、なぜ、あえてこの場所に改築されるのか。

この千年に一度の大雨による対策をどのように取るのか。また、中央保育所側に面した山部分は土砂災害区域に含まれていないのか。改修計画では、当初棟と増築棟は築7年の差しかないが、なぜ増築棟は一部の大規模改修としたのか。

答 寶達町長

いずれの場所も浸水域ではあるが、現在の中央保育所であれば速やかな工事の対応ができるということと現在地で実施することとした。災害時の対応については、ある程度の事前予測が可能であり、突然水が現れるといううことでもない。志雄小学校に避難するように見直し、2階以上のところに避難すればある程度の浸水があっても安全は確保できると

考えている。

増築棟の改修については、当初棟の構造が複雑であるなどの影響があるため、当初棟は建て替え増築棟を元にしたものをと考えている。

答 一家健康福祉課長

現在、蓮華山の相撲場がある部分が急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、中央保育所側については、指定されていない。

質 守田議員

避難先の志雄小学校にはエレベーターの設置はなく、バリアフリー化もされておらず、十分な計画が必要なのではないか。

答 寶達町長

訓練を重ね、どのような問題があるか考え、十分な対応をしていきたい。学校に行けば多くの人がおり、その人たちと助け合った避難をしていただきたい。



小島 昌治 議員

子どもたちを
危険な場所に
通わせたくない

質 小島議員

国が千年に一度の川の氾濫による近隣への浸水の全国調査を行った。宝達志水町では子浦川だけが調査された。昨年の長野県の千曲川の氾濫でも明らかのように、全国各地で「千年に一度の氾濫」で想定した以上の氾濫が起っている。今回、中央保育所の改修が現地で行われることが提案されたが、「千年に一度の近辺地域の氾濫状況」を考慮して現地の改修が決まったのか。ちなみに以前、予定されていた中央保育所の新築移転先であった現

在の宝達志水病院の所では浸水深が97cm、中央保育所の現地の浸水深は1m30cmである。わざわざ水かさの多いところなぜ、改修しなければならぬのか。

答 寶達町長

万が一の時には助け合いながら、小学校に逃げるができるように考えた結果だ。

質 小島議員

現在の中央保育所の浸水より高い1m30cmの浸水高の小学校に避難することを考慮したのかどうか聞いている。また、近年の雨の降り方は平均的に降るのでなく、急激に川の水かさが増す、ゲリラ豪雨が特徴である。それを考慮したのか。

答 寶達町長

その考慮はした。県の「千年浸水」は何十時間も継続して雨が降って、1mの高さの洪水などになると想定されていると考えている。

突然やってくるわけではない。事前の予報もあるのをみて避難ができるかと判断した。

質 小島議員

(雨が何十時間も継続して降って1mの高さの洪水になるというのは)初めて聞いた。今度は地域整備課長にお聞きしたい。「千年浸水」の規定はどのようなものなのか。

答 藤本地域整備課長

「千年浸水」は24時間800ミリの雨が降った場合である。

皆さんは「千年浸水」が考慮されていたと考えられますか。また、中央保育所の場所は今の場所が適切だと考えますか。議会にご意見をお寄せください。

討論



金田 之治 議員

町内全業種のための施策を

コロナ禍の下、町内業者に様々な悪影響が出てきている一方で、国から町に新型コロナウイルス対策の交付金が4億円を超えてきている。また、町の財政指数も大変よくなっている。(町民の暮らしと町の財政状況とのギャップがある)

そんな中、今回の補正予算の中心が町の財政指標をよくするため、(異常な)借金返済が中心のものとなっている。今こそ、借金

返済中心でなく(町民の暮らしにくさの一つである)上下水道料金に目配りした施策など町民の暮らし応援の予算にすべきである。

コロナ禍の下、(苦しんでいる)町民の方々が元気を出して生きていける補正予算が必要だが、今回の補正予算はそうはなっていない。ちなみに、町長は町長選挙の公約で「下水道料金を下げる」と言っていたが、それは基本料金を、500円だけ下げることで行った。町民の暮らしの実態はそれだけでは追いつかない。また、コロナ対策で、商業関係の予算の手当てを行ったが、建設や土木、製造業など、その他の業種への対策は不十分である。

すべての業種の業者に行き届いた施策が今こそ行われることを求

めて反対討論とする。



小島 昌治 議員

改善された財政で、町民をコロナから守れ

県内トップクラスの財政状況になった宝達志水町がすべき一番のことは、町の借金を繰り上げて返済することではない。借金は計画通り返済する、当たり前前のルールに戻し、新型コロナウイルスから町民の健康と生業を守ることを優先すべきである。例えば、宝達志水町の両隣のかほく市や羽咋市が上下水道料金の無料化(基本料金)を国からのコロナ対策の交付金を利用してこの間、行っている。

厚生労働省は「手洗いの頻度を上げ、帰宅後のシャワーをするなど効果的な新型コロナウイルス対策」と言っている。しかし、なぜか寶達町長はかたくなに実施を拒否している。

また、新型コロナウイルスは病院・診療所・介護施設・障がい者施設などで集団感染が発生し、感染急増をもたらす要因となっている。同時に、医療機関や施設を利用する高齢者や有病者、障がい者の感染は命の危険に直結する。そのため、宝達志



水町内の医療機関・福祉施設、教育関連に働く労働者500名の定期的な新型コロナウイルス感染の検査を行い、無症状の感染者を見つけ出し、保護する施策を行うべきである。高齢者や子どもたち、有病者の命を守る急ぐべき施策である。国からも交付金が来ているので、実施すべきであるが、予算計上されていない。

また、大工や内装屋等、小零細の建設関連業の方々の仕事の確保をコロナ対策交付金で行うべきである。内灘町でも実施されている住宅リフォーム助成制度は「仕事が入り、喜んでいる」と言われている。この制度は寶達町長が実施を拒否している制度だが、コロナ禍の下での仕事の確保の予算計上が早急に求められている。町民からは「不況克服のため

の予算はあるじゃないか。米出インターへの3億8千万円の無駄な道路建設をやめれば財源はある」という声が寄せられている。

寶達町長には町民の皆さんの声に耳を傾け、議会や行政そして町民の皆さんがアイデアを出し合い、協力してこの新型コロナウイルス感染症の時代を乗り切る立場に立つことを求める。

最後に中央保育所の改修工事について発言する。

子浦川の洪水による地域の浸水予測を考えれば現在の中央保育所は移設すべきである。中央保育所の保護の方数人にそのことについて話をした。すると、「役場の浸水の高さは1m80cm、志雄小学校は中央保育所の浸水の高さより高い。小さい幼児にどこに逃げると

「いうのか」と、当然の指摘がされた。子どもたちの安全を守るために、町長はご自分の思いつきよりも、町民の皆さんの願いと、現在の科学的知見を行政に取り入れることを強く求め予算の反対討論とする。



守田 幸則 議員

相見小学校トイレの バリアフリー化を

令和2年度宝達志水町一般会計補正予算第6号について反対の討論をする。今回の予算は、各保育所、小学校、あらゆる住民に対してのコロナの予算が大半であった。このコロナ禍でのコロナ予算だけ見れば大変素晴らしい

しい予算であると感じ取れるが長年の懸案であった小学校整備事業費、相見小学校のトイレの改修工事。せっかく改修をするのになぜバリアフリー化されないのかというような質問の中でバリアフリー化と障害者トイレと間違えているのではないかというような答えもあった。今、予算をかけて改修していくならば、このご時世バリアフリーは当然だと思っている。

中央保育所の整備事業費について、委員会での質疑の中で、なぜ現在の場所なのかについての明快なる答弁がなかった。今の保育所の危険性を質問した時には危険は危険であるがその前に小学校へ避難をする。中央保育所は1.5m 志雄小学校が1.6mと聞いているが、中央保育所にまだ水の

ない時に小学校では50cmある。どのような形で避難するのか。危険であることを認識しながら小学校へ避難をするということが安全対策になっている。今の段階で危険であると認識をしている場所になぜ建て替えをするのか。

さらには、増築棟の部分は今現在グラウンドから40cmぐらいで床上浸水になるような位置になっている。千年に一度の雨は千年に一度であろうがゲリラ豪雨は頻繁に起こる可能性がある。事前に分かっているならばしっかりと安全対策を取る。また少しでも安全対策を取れる位置に新たに建設するのが行政の務めだと思う。一番大事なのはそこへ通う子どもたちの生命であり町民の生命である。いつまでたっても何

も進展もしない保育所、小学校の統廃合計画にもあるのではないのか。子どもたちの将来を考えたとき、町内の保育所、小学校をしっかりと計画していかなければいけないのではないのか。

町長は就任当時よく町民ファーストという言葉を使っておられたが、2年目から町民ファーストという言葉はどこへいったのか。一番大事な町民の声に耳を傾けるということをお忘れになったのではないのか。今この安全が確保されない中でのこの予算について反対をし討論とする。

討論についてのご意見を議会へお寄せください。

第3回臨時会

(8月19日)

第3回臨時会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の対応に係る補正予算1件が可決されたほか、専決処分1件が承認されました。補正予算では、2408万円を追加し総額97億5704万円となりました。

○補正予算の主な内容

・ふるさと振興事業費

2408万円

ほっぴーさんカードを有効活用し町民による地元での購買促進、町外からの外貨獲得、加盟店の増加につなげるため、宝達志水町ポイントカード会に事業費を補助する。また、カード会員に各種キャンペーンの実施に係る行政ポイントの付与を行う。



町政を問う

議員7人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■北 議員	8
・ 移住定住する条件で職員採用を	
・ 増築計画されないよう環境保全協定に追加を	
■松浦議員	9
・ 高卒就職者の自動車運転免許の取得助成を	
・ 不法投棄の防止強化を	
■岩根議員	10
・ 二口～宿間の国道整備計画は	
・ スクールバス等へ抗ウイルス・抗菌施工を	
■塚本議員	11
・ 避難を支援するための体制づくりを	
・ 浸水被害を低減させる対策を	
■林 議員	12
・ 水道蛇口の自動化や片手対応の改修を	
・ 通学路の踏切の拡幅工事を	
・ 各地区の会館にトイレの増設を	
■勝二議員	13
・ 投票所のバリアフリー化を	
・ 機能していない消雪路線の調査・整備を	
(その他の質問) 各集会所にAEDの設置を	
■小島議員	14
・ 「密」を避け、安心して学習できる環境に	
・ コロナ禍で、小零細関連業者の仕事確保を	
(その他の質問) ・ 第8期介護保険事業計画とコロナ禍での介護サービス提供時間の短縮について	
・ 新型コロナウイルスから医療・介護・保育の従事者と利用者を守るためのPCR検査の定期実施を	

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



北 信 幸 議員

移住定住する条件で

職員採用を

門戸を広げ採用している

問 北 議員

令和2年度の町職員採用の求人倍率は。また、町外あるいは県外からの受験者も採用されているが町内出身者の人数は。どのような方法で採用されたのか。また、宝達志水病院の事務局長について、

本町の規模の病院でなぜ、事務局長が2人いるのか。1人は課長級、1人は参事級である。一事務局長は4月雇用であるのに7月の賞与で満額支給され議会にも問題視された。事務職員である課長等が「私が指示をした」と述べていたが、あやふやなままである。本年4月に発覚した職員の副業について、全員協議会で精査し説

明すると言われていたが、説明もなく現在もユーチューブを行っている。これまで、どのような精査をし話し合いをしてきたのか。また、その職員からの辞職願についても説明を。

答 高下副町長

令和2年度は12人の応募で5人を採用し、倍率は2.4倍であった。また、町内出身者は1人である。職員採用についてはできるだけ門戸を広げ採用している。病院の事務局長については、昨年の病院再編問題もあり1人の局長が再編担当となり2人体制をとっている。職員の副業について、現在本人の収入ではな

く母親の収入となっており、明確に黒とも白とも言えない状態である。また、辞職願については、個人情報のため現時点で明確に答えることはできない。

問 北 議員

職員採用は、移住定住するような条件をつけて採用するのが本当の姿ではないのか。

副業については、本人の収入ではなく家族が収入を得ていても、収入を得ている以上、関係のない話である。収入を得ないように発信すればいいのではないのか。

答 高下副町長

副業について、ご指摘は分かるが税務申告上本人の収入になっていないことを確認しており、母親の収入になっ

問 北 議員

旧押水放牧場跡地を町では県から4月に用地を取得し、ホームページ等で公募をしていたが、エントリーしたかった畜産業の方がいるのをご存じか。インフルエンザワクチンを作るため、月に何頭の鶏卵が必要なのか。また、環境保全の協定について、新たに建設計画がされないよう追加していただくよう以前

申ししたが、その件についても説明を。

答 高下副町長

約3週間にわたりホームページで、その他新聞等により跡地活用

問 北 議員

畜産業の匂いの問題は隣接する集落だけではなく、2km範囲の町民の方の思いもある。どうお考えか。

答 松原農林水産課長

出荷個数計画は企業経営上、町では把握していない。臭気の苦情については協定締結しており、隣接集落のみならず、周辺集落などの苦情についても適正に対応していく。

増築計画されないよう 環境保全協定に追加を

改めて条項の追加はしない

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



松浦 文治 議員

高卒就職者の 自動車運転免許の取得助成を

運転免許の取得助成は見合わせたい

問 松浦議員
コロナ禍で高卒求人
に陰りが見えてきてい
るが、本町居住の来春
卒業予定高卒生の就職
採用状況はどうか。採
用企業や高卒求職者に
どのような対策がとら
れているか。
高卒卒業後に就職す
る高校生にとって、社
会に出る前の免許取得
は必要不可欠であり、
免許取得には30万円前

後の費用がかかる。
コロナの影響で就職
状況が厳しい中、本町
として自動車運転免許
取得に助成等を行えば
どうか。また、町外か
ら通学する宝達高校の
学生にも対象を広げら
れないか。

答 寶達町長
来春卒業予定の高校
生の就職採用状況は、
新型コロナウイルス感
染症の影響により、現
時点では明らかになっ
ていない。

採用企業や高卒求職
者への対策については、
県及び能登地区の自治
体のほか羽咋雇用対策
協議会とも連携し、学
生の就活支援を行って
いる。
町としては、町内在
住者の就職状況を調査
のうえ、就職を促進す
る施策を検討していき
たい。運転免許の取得
助成については見合わ
せたい。

不法投棄の防止強化を

監視カメラの貸出し等を行う

問 松浦議員

本町でのこれまでの
不法投棄の相談件数や
その相談内容はどのよ
うなものがあるか。ま
た、ゴミ集積所関連の
不法投棄の相談件数や
その相談内容もどのよ
うなものがあるか。そ
の後の相談結果処理を
どのようにされている
か。

ゴミ集積所での不法
投棄防止と住民の安心
感につなげるため、防
犯カメラの設置や犯罪
抑止を目的に青色の街
灯設置等の対策を取れ
ないか。また、町職員
による現場巡回指導等
の強化をできないか。

答 寶達町長

集落のごみステーシ
ョンにおいて、テレビ
などの不法投棄があつ
た場合、投棄者が判明
しない場合は、当該集
落で処分していただく
ようお願いしている。

ただ、事業所等から
排出されたと見られる
産業廃棄物など悪質な
案件が多くあれば集落
での負担が大きくなる
ことから、監視カメラ
の貸し出し等を行っ
ていきたい。

また、不法投棄抑止
や防犯の観点からの青
色街灯の設置について
は、設置により犯罪抑
止効果があったという
地域もあるとのことだ



▲不法投棄禁止看板

が、反面、暗くて見通
しが悪くなったなどと
評価されている地域も
あり、効果の検証が難
しいことから、設置は
考えていない。

答 定免住民課長

相談件数は年間5件
程度でそのほとんどが
区長からであり、不法
投棄禁止看板を設置し
たいという内容である。
町では毎年、不法投
棄禁止看板を作成し、
集落からの要望に応じ
て看板を配付し、設置
していただいている。



岩根 信水 議員

二口～宿間の

国道整備計画は

早期事業化を促進する

問 岩根議員

周辺自治体のバイパスや羽咋道路が開通または事業中である。二口から宿までの整備については調査区間となっており事業計画化がされていない。

安全性の向上、アクセス性(物流)の向上、災害に強い道路ネットワーク、これらのことを踏まえた上で住みやすい町づくりに寄与するため早期の事業計画化が望まれている。

そこで、二口から宿間の国道159号線の整備事業化に関する進捗状況及び今後の予定について教えていただきたい。

答 寶達町長

早期事業化を促進するため、「国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会」を羽咋市と合同で立ち上げ、毎年、国土交通省や北陸地方整備局などへの要望活動を実施している。本年は、九月一日に未事業区間の事業化を強く要望したところである。



スクールバス等へ 抗ウイルス・抗菌施工を

効果や安全性などについて調査する



問 岩根議員

現状で町所有の公用車やスクールバス等については抗ウイルス・抗菌処理が施されていないと伺っている。

県内での感染も多く報告されている中で第一波のときのように本町でも感染者が突発的に増えることは十分に考えられる。

施工要領にもよると思いますが、一度施工すれば数年間は持続効果がある。

感染者が発生した際に感染拡大を低減するために、スクールバス、コミュニティバス、不特定の方が使用する公用車等に抗ウイルス・抗菌施工をして、事前にコロナウイルスの感染拡大予防を図ることが望ましいと思うが、いかがか。

答 寶達町長

抗ウイルス・抗菌施工の効果について厚生労働省に照会したが、国際的な評価方法が確立されていないことから、明確な回答は得られなかった。

一方で、民間の技術認証を得た抗ウイルス加工(SIAA抗ウイルスコーティング等)が普及しつつあることから、それらの効果や安全性などについて調査を行いたいと考えている。

なお、バス乗車時には、マスクの着用や会話を控えることを励行し、手指消毒液をバス内に配備しているほか、バス運行の委託業者により、バス内の消毒、換気を行っており、こうした感染予防を適切に継続していく。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



塚本 勇仁 議員

避難を支援するための
体制づくりを緊急時の避難方法について
集落別に相談を行いたい

問 塚本議員

7月9日の豪雨により、旧志雄町山間部に対して避難勧告が発令され、避難所であるさくらドームに避難した方はいなかったそうだが、その原因についてどのように検証したのか。また、さくらドームには何人収容可能なのか。

今後、避難勧告などが発令された場合、山間地の一人暮らしの高齢者はさくらドーム等

まで避難することが困難であり、支援が必要と考えるがいかがか。
また、地域の状況を把握したり、各集落間で密に連絡を取り合える体制を作ってはどうか。

答 寶達町長

避難がなされなかった主な理由は、発令時に大雨が降っており、付近で災害が発生していない、前兆が感じられなかったためと考えている。また、避難体制が確立されていないことも理由の一つと認識している。

今後、町と各集落や防災組織の関係者が連絡を取り合える体制づくりと緊急時の避難方法について、集落別に相談を行いたいと考えている。

また、コロナ禍でのさくらドームの避難者収容人数は、一人当たり面積4㎡で246人としている。

浸水被害を

低減させる対策を

2基のダムに
監視カメラと水位計を設置

問 塚本議員

2級河川の子浦川に對する洪水ハザードマップが発行され、先日子浦区を対象に説明会があったが、その内容は、避難所や知人宅など、安全な場所に避難してくださいというものであった。

しかし、どの程度の雨が降っているのか、その他の河川等周囲は安全なのか、様々な点を考慮するとどうすれば安全に避難することができるのか、想像することすら困難に思われる。

また、豪雨による農業用水路の氾濫、上流にある2基のダム、子浦川護岸の管理や河床

の中州の除去も影響すると考えられる。これらへの対応が良く管理されていれば、浸水被害も低減させることが可能と考えるがいかがか。

答 寶達町長

八ヶ用水や新宮ダム及び子浦川防災ダムは、邑知潟土地改良区が維持管理を行っており、台風や豪雨時には、事前にダムや水門ゲートの操作を行い、下流に流す水の量を調整することで浸水被害の低減に努められている。

また、邑知潟土地改良区が事業主体となり、今年度には新宮ダムと子浦川防災ダムで監視カ

メラと水位計が設置され、監視体制の強化が図られることから、更なる防災減災対策が期待できるものと考えている。

また、堆積土砂については、二級河川を管理する県により除去が進められている。

町としては、洪水対策に繋がるよう、河川の適正管理について引き続き要望していく。



▲2級河川の子浦川



林 稔 議員

水道蛇口の自動化や 片手対応の改修を

使用頻度の多いところから
取替えていきたい

岡 林 議員

コロナ禍における、保育所、小学校、中学校の水道の蛇口の安全対策について、子どもたちが使う水道の蛇口について自動化か、片手に対応するレバータイプやプッシュ式の蛇口に変えることで、安全に手洗いができると思うが、いかがか。

答 寶達町長

水道蛇口の自動化や片手対応の改修については、新型コロナウイルスを始め感染症等の予防の観点から衛生管理のために重要であると考えている。

保育所では、南部保育所と相見保育所で自動水栓化や片手対応の

レバー式及びプッシュ式としており、北大海第一保育所と中央保育所では、大規模改修に合わせて改修する予定である。

小中学校では、トイレ、ランチルーム、廊下等の手洗い場の回転式蛇口を優先的に自動水栓化及びプッシュ式タイプのものに取替えていきたいと考えている。



▲現在の回転式蛇口

通学路の踏切の拡幅工事を 将来的に検討したい

各地区の会館にトイレの増設を 町コミュニティ施設補助金 交付対象として取り扱う



▲完成した踏切前の歩道

岡 林 議員

通学路の踏切の拡幅工事について(安全確保について) 上田から出村の歩道が完成したが、JR七尾線の踏切の拡幅工事が出来れば更に安心して、通学ができる。

また、小川の博多踏切も拡幅ができれば、安全に通行できると思うがいかがか。

答 寶達町長

町道堂田上田線においては歩道新設工事を実施している。上田出踏切の拡幅については、集落からの要望も踏まえ、将来的に検討したいと考えている。

博多踏切においては、多額の費用が必要と考えられることから、関係機関と協議しながら慎重に進めることが必要だと考えている。

岡 林 議員

各地区の会館は、避難所として重要な場所となっており、環境整備を進めていかなければならない。その中でも、避難所としての充実のためにトイレの増設が必要と考えるがいかがか。

答 寶達町長

集落会館は身近な避難所であるので、トイレの増設要望があれば、町コミュニティ施設補助金交付対象として取り扱っていききたいと考えている。

なお、災害時において、地区会館が避難所となった場合には、必要に応じて災害用簡易組立トイレを設置し対応したいと考えている。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



勝二 正人 議員

投票所のバリアフリー化を

引き続き投票環境の整備に取り組む

と思われる。投票率向上のため取組が必要だと考える。

本町の投票所のバリアフリー化になっている会場はあるのか。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策を検討しているのか。

答 村井参事兼総務課長

直近の選挙で使用された10か所の投票所のうち、バリアフリー化がされていない施設が4か所ある。

こうした施設においては、簡易スロープの設置や事務従事者による人的介助などの方法により、環境の向上に努めている。このほか、

全ての投票所において、車椅子や拡大鏡を設置するなど、投票環境の整備に努めており、引き続き取組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症対策については、今後執行される選挙においては、事務従事者



▲期日前投票所

等のマスク着用 of 徹底や受付にビニール障壁を設置するなど、投票所に訪れた方が安心して投票できるよう、感染対策に十分配慮した環境整備を行ってきたい。

また、投票所に訪れる方が集中することにより、感染のリスクが高まることも懸念されるため、期日前投票の積極的な利用を呼び掛けるなど、混雑対策にも十分留意していきたいと考えている。

機能していない

消雪路線の調査・整備を

早期補修を強く要望していく

問 勝二議員

町内の主要県道で雪管が自噴して車道面に水がたまったり、散水量が少なく機能していない箇所があると聞く。今後、機能していない箇所の調査、対応が急務と考える。

本町はほかの地域より整備が不足していると感じるが、県へあらゆる機会を通じて更に強い要望が必要と考えるがいかがか。

今後、県へどのような対応をなされる予定か、お聞きする。

答 高下副町長

不具合の箇所については、町より石川県に対し状況を報告している。県では、補修の必要性を考慮し順次、対応している。

今後は県に対し、消雪路線の早期補修を含めた生活道路の維持管理について、強く要望していく。



▲消雪装置のついた道路



小島 昌治 議員

「密」を避け、安心して 学習できる環境に

20人学級は考えていない

問 小島議員

新型コロナウイルスが日本経済に打撃を与え、仕事を失ったり、収入が大きく減ったりした人を多数生んでいる。

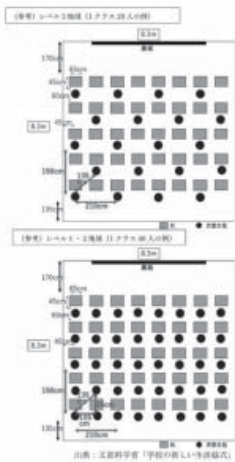
苦しい家庭が増え、それが子どもの教育に反映している(富めるものとそうでないものとの学力の格差が広がっている)。そうした事態にきめ細かく対応し、すべての子ども一人一人を丁寧に見てあげられるようにすることが不可欠である。そのためには教師が十分に目が届く20人以下の

少人数学級が子どもたちにも保護者にも求められている。この実現には法律的根拠も町の財政的裏付けもある。

町長は(学力の格差の広がりをなくし、ソーシャルディスタンスを守り、安全なクラスにしてほしいという)この町民の願いにこたえる考えはありますか。

答 寶達町長

町として20人学級の実施を考えていない。



コロナ禍で、小零細関連業者の 仕事確保を

住宅リフォーム助成はしない



問 小島議員

消費税10%の上に、新型コロナウイルス感染症が日本経済の上に覆いかぶさり、深刻な不況が続いている。特にわが町では小零細の大工や内装・外装屋、瓦屋など建設関連企業の方々の仕事を確保することが早急に求められている。

県内を調べたところ、内灘町がコロナ対策として、その事業を取り組んでいた。国からきているコロナ交付金で1千万円の予算をつけて住宅リフォーム助成制度という制度を作った。町内の方が住宅のリフォームをしたら2割の助成(最高20万円)が受けられる、という制度である。これが小規模の建設関連業者の方々に「これで仕事ができる」と喜ばれる制度になっている。6月に1千万円の予算を内灘町が付けたらすぐになくなり、さらに一十

万円の追加計上となった。市や町でこんな不況対策はできるのである。

内灘町などで「有効なコロナ不況対策」と認められたこの制度の実施はどうか。

答 寶達町長

プレミアム付きの商品券、ポイント10倍で幅広い業種の方に向けた支援や消費の支えが行えて、効果も上がっている。住宅リフォーム制度は実施しない。

議会にご意見を

「コロナ対策ですべての業種に支援が行われ効果がでていく」と町長は答弁しています。建設関連の小規模事業者の方々のお声を議会に寄せください。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催

7月10日、10月5日と議会は2度、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催しました。

第4回 7月10日

6月末、国から宝達志水町へ「第2次の新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金」が2億9千万円交付されることの決定を受け、議会は町長に「早急に予算を提案すること」を要請し、同時に新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催しました。

議会側からの提案と 町の答弁

議会①

町内の全ての医療や介護従事者への慰労金支給の件はどうなったか。

町①

個人でなく事業所を支援する形をとる。

議会②

コロナ感染を受け、介護保険利用者に新たな負担を課す制度ができたが、コロナ対応交付金で賄うべきだが。

町②

中身を具体的につかないでいなので、今後の検討課題とする。

議会③

今回の臨時休校を踏まえ、次にある時は、保護者の都合を考え、連絡は余裕を持って行っている。

町③

次の臨時休校の時は余裕を持って対応する。

議会④

商工会に入っていない小規模の事業者についても意見を聞いて施策づくりが必要である。現状はどうか。

町④

現在、町業者の3分の2の組織率がある商工会と相談し施策を検討している。

第5回 10月5日

議会側からの提案と 町の答弁

議会①

コロナでの倒産や失業は把握しているか。

町①

倒産はないが、廃業はある。失業に関しては把握していない。

議会②

コロナ不況を受けて、町は町業者向けに融資制度の利子補填の制度を予算化した。その利用状況と今後の対策は。

町②

石川県がより有利な融資制度を作ったため、町の融資制度利用はゼロである。そのため、次の臨時議会で使わなかった予算を含め、施策を検討している。

議会③

インフルエンザワクチンの保育園児、義務教育の子どもたちへの無料接種はいくらかかり、その検討はされているか。

町③

250万円から400万円である。よく考えてやっていきたい。

議会④

感染が落ち着いているこの時期に、クラスターが発生したら大きな影響が出る医療や介護、保育や障がい者施設でのPCR検査を無料で実施していく必要があるがどうか。

町④

県の感染症対策本部で本日、会議がされているので、その見解を待ちたい。

議会⑤

町は避難所環境整備事業として、コロナ交付金を使い、「エアコンのない集落にはエアコンを設置する」としている。同じ交付金でエアコンが備わっている集落には「感染症対策用品購入補助」の名目で26集落に空気清浄機などを購入する50万円の予算を支給している。エアコンと感染症対策は別物である。今後エアコンが壊れた集落には町が税金で設置する必要があるし、空気清浄機が壊れた集落があれば、そうすべきという前例を作ることになる。その理解でいいか。

町⑤

今後、検討する。



会期中の 常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(9月11日)

問 今後、新型コロナウイルス対策にかかる補助金が見込まれるが、病院の事業収益は7月までに昨年度比で2700万円減である。補助金額が事業収益の減収よりも大きいのであれば、何か特別なことを考えているのか。

答 県からの補助金は現時点で、事業収益の減収を上回る金額が見込まれている。今のところどのようなように活用できるため、経費に充てて病院の持ち出しを少なくすることや、必要な医療機器を購入することもできる。

問 医師をはじめ医療スタッフに十分な手当をしていくべきだと考えるが、現時点で手当について考えているのか。

答 国からの慰労金で、新型コロナウイルスの患者対応をしている職員に対し、当院では職員全員に一人あたり5万円から20万円が国から支給される予定である。

問 新型コロナウイルスのPCR検査の財源は。

答 保健所の判断で行う行政検査は県が全額負担をする。

当院の医師が必要と判断したときは保険適用となり、本人負担分は県が負担する。

問 検体を取ってすぐに結果が分かるPCR検査機器を、県が手を挙げた医療機関に提供するという新聞報道があったが。

答 当院にも機器をもらえる資格があったが、人員不足で断念した。

問 入院患者や職員で陽性反応となった場合、どの範囲まで検査をするのか。全職員、病棟全体、出入り業者含めて考えないと

いけないのではないか。
答 発生者を中心にしたランク付けは必要だと考えている。原因不明の熱発が起こっている患者には、積極的に検査すべきだと考えている。また、全職員にPCR検査を行うことが初期対応として精度が高いが、石川県のPCR検査体制を考えると全職員の検査は難しい。羽咋病院でPCR検査ができる機器が入ったら保健所と相談し、対応を考えたい。

問 地域包括ケア病床の入院患者が新型コロナウイルス感染症を発症したときの対応は。

答 一旦、新型コロナウイルス感染者用の病棟に移り、そこで集中的な治療を行い、落ち着いたら場合によっては、地域包括ケア病床に戻ることもある。

教育厚生常任委員会

(9月14日)

◎中央保育所関連

問 なぜ今の場所で建て替えるのか。雨の対策をした実施設計を組んでもらうとのことだが、建物の半分ほどが残ると地盛りができない。しっかりと検討したのか。

答 費用面と建設工事期間を考慮したことや地域の方にも愛されていること、志雄小学校にも近く交流ができることなどを総合的に判断しこの場所とした。水害対応については、実施設計を行う中で考えていきたい。

問 新築でないと工事途中でいろいろな問題が出てくる。増築棟で多くの予算がかかるが、もう少し増やして新築に出来ないのか。耐震補強も行うというが、年々老朽化が進んでいく。こういったことを検討したのか。

答 昨年度から保育士と話し合い、要望を聞いている。大幅な変更は出来ないが簡易なもの是对応したい。

問 費用面より安全面ではな

いか。新築にすれば子どもたちはすぐに入ることが出来、工期は関係ないのではないか。

答 水害対応については、実施設計で考えていく。新築の工期については、インフラの整備等に時間がかかると思われる。

問 浸水1mを考慮したのか。現在の保育所では、1m20〜30cm、病院横であつたら70〜80cmの水がつくと出ているが、なぜあえて深く水がつくほうに建設する判断をしたのか。

答 どちらの場所も1m前後の浸水となり、同じ程度の危険はある。今後、避難方法やその後十分な対応が出来る場所、志雄小学校へ協力を求めながら安全な体制を整えていきたい。突然1mの水が来るわけではないので、危険性を感じる前に早めの安全確保の行動を取っていききたい。あえて危険な場所に建設するとは思っていない。

問 水害は、一時期に集中し

て起こることも想定しないといけない。どちらも1m前後という認識でいいのか。
50cm近く差がある。改めてほしい。

問 危険であるという認識をもって対応を行っていく。

問 相見小学校トイレ改修工事について、バリアフリーにするのか。また、床を乾式化するのになぜ、バリアフリーにしないのか。

答 車いすが利用できるバリアフリーにするのとスペースを確保する分、トイレの個数が減ってしまうためバリアフリーは考えていない。トイレの改修工事は当初、洋式トイレが少ないことから改修することを予定していたため、また悪臭改善を優先に考え補正計上していることを御理解願いたい。

問 小学校で遠隔授業を行うことによって、児童の様子や行動が伝わらないのでは。コロナ禍において

遠隔授業を行うのであれば、子どもを少なくし一クラス20人以下にし、そこに配置する教師を確保することが大事なのでは。
答 小学校では、少人数学級が多く、学力差についても指摘があったが、各学校において十分に対応出来ていることから20人学級は考えていない。

問 学校施設の消毒作業を先生方が行っていると聞いているが、大変な負担となっている。授業の準備にも支障をきたしているのであれば、委託費の予算をつけてはどうか。
答 スクールサポートスタッフを全校に配置しており、協力しながら実施している。

総務産業建設常任委員会

(9月16日)

問 本町の地域おこし協力隊の現状は。

答 現在、2人の協力隊があり、移住定住サポーター1人、有害鳥獣サポーター

1人である。

問 募集と応募の状況は。

答 農業の6次産業化、有害鳥獣対策、スポーツと観光を掛け合わせた町づくり、オムライス町のPR、ほっぴーさんカードの運用の業務で、合計5人募集しており、応募に関する問い合わせは数件あるが、今のところ採用にはいたっていない。

問 応募がない理由をどう考えているのか。本町の事業への取組状況等が分かりにくいからではないか。町づくり全体の方向性等を整理し、応募してもらえるよう体制を整えてほしい。

答 町の事業の中で地域おこし協力隊がどのように関わっているのか改めて整理し、応募希望者に分かりやすいように示し、事業に取組んでいきたい。

問 古墳の湯の利用人数が昨年と比べ減少していると聞くが、指定管理者は利

用人数を増加させるための取組を行っているのか。
答 コロナ禍により利用人数を増加させることは困難であるが、地場産品の販売等により利用人数の増加を図っている。

問 公園管理における樹木伐採について、古墳公園を中心に考えているようだが、白虎山公園の桜も荒れており、配慮願いたい。
答 古墳公園の桜の木伐採を概算で200本予定しており、古墳公園の伐採本数が減れば、白虎山公園の伐採も検討したい。また、現年度予算で白虎山公園の桜の剪定も考えている。

問 以前、剪定後に防腐剤を塗った木と塗らない木があり、塗らなかった桜の木が枯れた。仕様書にはきちんと明記して発注をしてほしい。

答 今回は伐採が主であり、剪定する場合注意し発注、管理したい。

問 4330万円の繰上償還の意図は。新型コロナウイルス感染症対策に有効活用できなかったのか。

答 繰越予算については、法定の使途があり、2分の1以上は地方債の償還に充てなければならぬため、減債基金や普通交付税の留保分を活用して、借換分のうち4330万円を繰上償還することとした。どれだけ繰上償還するかは、そのときの財政状況に応じて実施し、それが原則で、人件費分の減額補正も合わせ、2億円近い留保資金を確保しており、実施すべきと判断した。新型コロナウイルス感染症対策については、4月から今回の9月補正まででは、地方創生臨時交付金の交付限度額の7割に近い約2億6000万円を町内業者の支援に充てている。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください。

委員会活動レポート

■議会改革特別委員会 ～委員会等の公開について～

議会改革特別委員会では、次のことについて協議を行いました。

- 1 委員会等の公開について
- 2 議員政治倫理条例について

1は、先進地の更なる調査など継続していく。

2は、公共工事等の請負契約では、経営者が議員の親族の範囲や議員が事実上支配力をもつ場合などはどうか。また、議員が関わる企業等が契約可能な場合の総契約額の割合の程度はどれくらいか。と言った多くの意見が出され、今後も継続して協議をしていくこととしました。

今後、決定したことは議会運営委員会に諮り、議員協議会を経て、実施されます。



▲議会改革特別委員会の様子

お知らせ

12月定例会本会議の日程

令和2年第4回町議会定例会

〔開会〕12月3日(木) 午前10時 〔再開〕12月11日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

議会では、予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎傍聴をされる方へのお願い

新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

- ・受付時に検温をさせていただきます。
- ・マスクの着用・手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・傍聴席を制限しております。(21席→10席) 間隔を空けてご着席ください。

令和2年11月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 柴田 捷

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／塚本 勇仁

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

委員長 塚本 勇仁

副委員長 小島 昌治

委員 守田 幸則

委員 土上 猛

委員 林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。